

Dialog 3 Draw one's notice -人の注意を引く-

口語訳

Roles: Kei= K, Heinrich= H

Kei is at the International School festival. He got lost, and is in front of a room. He looks into the room. Just then, Heinrich walks by and finds Kei.

H: Excuse me, can I help you?

K: I was just...

H: This room is for staff only.

K: Oh, sorry, I didn't know.

H: That's OK, there's nothing special in it anyway.

K: I see. Oh wait! Excuse me!

H: Yes?

K: How do I get to the cafeteria? I'm lost.

H: Is that so. Then, I'll show you the way.

K: Thanks a lot!

圭はインターナショナル・スクール祭に来ています。迷子になって、ある部屋の前にいます。彼は部屋を覗き込みます。ちょうどその時、ハインリックが通りかかり、圭を見つけます。

ハ： すいません、何か用ですか？

ケ： ぼくは、その...

ハ： その部屋は関係者しか入っちゃいけないですよ。

ケ： ああ、すみません、知らなかったから。

ハ： いいよ、どっちみちたいしたものがあるわけじゃないから。

ケ： ああ、そう。 あっ、ちょっと待って！ すいません！

ハ： はい？

ケ： カフェテリアへはどう行ったらいいのかな？ 迷っちゃって。

ハ： そうだったの。 それなら、行き方を教えてあげるよ。

ケ： どうもありがとう！

Target Expressions

一人の注意を引く表現



このダイアログのポイントはこの人の注意を引く時の表現よ。

「すみません。」と人の注意を引きたい時は“Excuse me.”を使います。

例： Excuse me, can I help you?
すみません、何か用ですか？
Excuse me!
すみません！（去って行く人を引き止める）



Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

“Can I help you?”：直訳すると「私はあなたを助けることができますか？」ですが、「何か用ですか？」という決まり文句です。

“get to...”：「(ある場所に)達する」という意味です。

“be lost”：「道に迷った」という意味です。

“Is that so?”：「それはそうですか。」 「そうですか。」 「そうだったの。」となります。

“show the way”：「道を教える」という慣用句です。「道を見せる」「道を示す」「道を教える」となります。

Teachers' Only 先生以外閲覧禁止

逐語訳

八： すいません、私はあなたを助けることができますか？

ケ： 僕はただ...

八： この部屋は関係者だけのためです。

ケ： ああ、すみません、僕は知らなかったんです。

八： それは大丈夫です、そこにはどのみち何も特別なものはありません。

ケ： わかりました。 ああ、待ってください！ すみません！

八： はい？

ケ： 私はカフェテリアにはどう行きますか？ 私は道に迷っています。

八： それはそうですか。 それなら、私が君に道を見せましょう。

ケ： どうもありがとう！

“Excuse me”はいろいろな場面で使うことができます。

例：見知らぬ人に話しかける時

席を立つ時

他人の前を通る時

自分の発言を訂正する時

相手の体に触れた時

くしゃみ・げっぷをした時

相手の言葉が聞き取れない時

* 日本語の「すみません。」のように謝る意味や感謝する意味は“Excuse me.”は使えません。謝る時には“Im sorry.” 感謝する時には“Thank you.”を使います。

“Excuse me”はいろいろな場面で使えるんだね。



Target Expressions

一人の注意を引く表現